

2018年4月26日

報道関係者各位

## 「治療アプリ®」のキュア・アップ、 NASH（非アルコール性脂肪肝炎）治療アプリ®の多施設臨床試験を開始

疾患治療用プログラム医療機器として「治療アプリ®」の研究開発を行う株式会社キュア・アップ（本社：東京都中央区 代表取締役社長：佐竹 晃太）はこの度、東京大学医学部附属病院 消化器内科 小池和彦教授・佐藤雅哉助教らのグループと共同で開発したNASH（非アルコール性脂肪肝炎：Non-Alcoholic Steatohepatitis）専用の治療アプリ®「NASH App」の多施設での臨床試験を開始することをお知らせ致します。

本研究は、東京大学医学部附属病院にて2016年より実施していたフィージビリティ試験の結果を受け、新たに開始することとなった多施設での臨床研究となっており、引き続き臨床現場におけるエビデンス構築および製品改善を目指したものです。

### 【実施背景と今後の展望】

キュア・アップは、モバイルテクノロジーの進化を適用した新しい医療の形として、従来より高い治療効果を実現する個別最適化された（パーソナライズド）医療の実現を目指しています。

具体的には、これまで介入の難しかった患者様の意識・習慣や時間帯（院外、在宅・外出時など）も含めて、幅広い患者様の生活に医療用アプリ「治療アプリ®」を通して治療介入し、患者様それぞれの状態に応じた適時適切なフォローを行う仕組みの構築を予定しています。



NASH は肝硬変や肝臓に進行することが知られており、将来的にNASH を基盤とした肝臓の増加が懸念されております。肥満を背景に発症するNASH は国内に200 万人程度（予備軍は推定1000 万人程度）存在すると考えられているにもかかわらず、現状確立された治療法がなく、減量のための栄養指導や医師からの運動の励行など個々の施設の取り組みにとどまっています。

また、外来受診時の限られた時間で患者に適切な行動療法を行うことは現実的に困難であり、患者自身の治療の継続も難しいことが課題となっています。そこで、個々の患者に最適化された診療ガイダンスを外来受診時以外もアプリが継続的に行い、患者と医療従事者双方の負担を著しく増やすことなく効果を得ることができれば、NASH に対する有望な治療法になると期待されます。

また、患者の認知と行動の改善を通じた減量による治療が達成されれば、NASH により生じる肝硬変や肝臓のみでなく、肥満がリスクとなり生じる他の疾患の予防にもつながり、日本の医療費削減への貢献も期待されます。

**【本国でのNASH治療の現状】**

日本の成人の肥満者数（BMI $\geq$ 25kg/m<sup>2</sup>）は、男性1300万人、女性は1000万人に上ります。また、健診受診者のうち男性の約40%、女性の約20%がアルコール摂取と関連のない脂肪肝があると報告されています。

食事の欧米化に伴い、脂肪肝の患者は年々増加しており、現在国内で約1000万人程度と推定されます。

その中で、将来肝硬変や肝臓癌に進展する危険性のあるNASH患者は、200万人程度存在すると考えられ、健康寿命に著しい影響があると考えられています。国内外における疫学研究において、NASHと診断された患者は肝硬変や肝臓癌のみでなく、心筋梗塞などの発生により死に至るリスクが高いことが示されています。

**【株式会社キュア・アップについて】**

株式会社キュア・アップは、高度なソフトウェア技術と医学的エビデンスに基づいた疾患治療用プログラム医療機器の研究開発から製造まで行うMedTechベンチャーです。「アプリが病気を治療する効果を持つ」という新しい医療サービスを日本で初めて実現するために、病気を治療するアプリである「治療アプリ®」の開発に取り組んでいます。

「治療アプリ®」は患者様ごとの日々の治療経過を基に、医学的知見とエビデンスをベースとしたアプリが解析、ガイダンスを行うことにより新しい治療効果を生み出すことを狙います。また意識・行動の変容から習慣レベルの改善を促すことで、疾病の改善にも資する可能性を持っています。弊社は、国内ではいち早く臨床試験を開始し、第1弾となる「ニコチン依存症治療用アプリ」が現在治験中である他、複数の疾病への開発も開始しています。

また、日本で生み出したモデルをベースに「日本発のデジタルヘルスソリューション」として、順次グローバルにも展開していく予定です。

現在の「治療アプリ®」の開発状況は以下の通りです。

- ニコチン依存症治療用アプリ：慶應義塾大学医学部呼吸器内科との共同開発、多施設共同臨床試験を2015年2月より開始し、2017年10月治験開始。
- 非アルコール性脂肪肝炎（NASH）治療アプリ：東京大学医学部附属病院との共同研究。2016年10月から臨床研究を進行中。

「治療アプリ®」は株式会社キュア・アップの登録商標です。

**【株式会社キュア・アップ 会社概要】**

社名：株式会社キュア・アップ(CureApp,Inc.)

代表取締役社長：佐竹 晃太

本社所在地：東京都中央区日本橋小伝馬町12-5 小伝馬町YSビル4階

資本・資本準備金：1,966,500,000円

設立：2014年7月31日

事業内容：プログラム医療機器開発、PHR（パーソナルヘルスレコード）事業、モバイルヘルス関連サービス事業

商標登録：「治療アプリ®」「CureApp®」「ascure®」「処方アプリ®」

URL：<http://cureapp.co.jp/>

**【本件に関するお問い合わせ先】**

株式会社キュア・アップ

広報担当 三島

support@cureapp.jp